

## 記録映画アーカイブ・プロジェクト 第6回ミニワークショップ

### 「アマチュア・フィルムの保存と活用」 上映作品解説

日時 2016年5月13日 18時～20時半

会場 東京大学本郷キャンパス工学部2号館92B教室

#### ① 『牛込区郷土映画』

1940年／35分（郷土編18分＋学校編17分）／16mmサイレント／モノクロ／製作者：不明

昭和15年、東京の視聴覚教育を担当する富久小学校の先生が牛込区を紹介するための教材映画として作成したもの。戦前の東京は35区に細分化されていたが昭和22年に23区に再編成された。牛込区は四谷区、淀橋区と統合して新宿区になった。牛込区は神田川の西側、飯田橋から早稲田、戸山、大久保一帯で、住宅や学校、陸軍の施設が多い地域であった。富久小学校は昭和19年8月、日光に集団疎開していたが昭和20年4月の空襲で校舎を焼失。その後フィルムは不明となっていたが昭和50年、空襲で焼け残った物置から発見された。フィルム缶には牛込区郷土映画と記載されていたが、上映作品にはタイトル部分が失われている。戦争前の東京山の手の様子や学校行事が教師の目で記録されている。

#### 牛込区の地図

早稲田大学

陸軍戸山学校

陸軍病院

東京女子医大

成女高校



江戸川アパート

飯田橋駅（牛込駅）

市ヶ谷駅

富久小学校 陸軍士官学校 幼年学校

#### ② 『昭和8年の東京見物』

1933年／10分／16mmサイレント／モノクロ／撮影者：小島清吉

撮影年月日は昭和8年1月22日・2月11日・3月8日昭和9年10月2日とある。三度の上京の折撮影されたホームムービーを1本につなげて上映。フィルムは恐らく江戸期から明治期にかけて函館で商売をしていた「マルイチ小島家」のものと思われる。「マルイチ小島家」はペリーが箱館に来航した際には町名主の一人として対応にあたった家で、小島家の娘が五稜郭の設計者武田斐三郎に嫁いでいる。裕福な商家であったと思われるが、商売をいつ頃やめたのかは不明。 (